

参考資料

参考資料 1

- (1) 「舞台芸術人材の育成及び活用について」文化審議会文化政策部会
報告書（概念図） 3 0
- (2) 「舞台芸術人材の育成及び活用について」文化審議会文化政策部会
報告書の概要 3 1
- (3) 文化審議会文化政策部会検討経緯 3 2
- (4) 文化審議会文化政策部会委員名簿 3 6

参考資料 2

- (1) 文化庁における舞台芸術人材の育成及び活用に関する事業 3 7
- (2) 独立行政法人日本芸術文化振興会現代舞台芸術の実演芸術家等の
研修事業 3 9
- (3) 大学等における在籍者数及び就職状況 4 0
- (4) 米国，英国，中国，韓国，日本の実演芸術家等の人数 4 2
- (5) 実演芸術家等の国際コンクールの入賞状況 4 4
- (6) 実演芸術家等の活動状況 4 7
- (7) 公演回数等 4 8
- (8) 実演芸術家等の処遇状況 5 4
- (9) 文化会館の状況 5 6
- (10) 指定管理者制度の導入状況 5 8
- (11) 実演芸術家等に関する人材の育成及び活用状況 6 1
- (12) アートマネジメント人材の育成と活用の状況 9 2
- (13) アートマネジメント研修の実施状況について 1 0 8

理念

- 文化芸術の振興は、地域の活性化など影響は多岐、この力を効果的に活用
- 国際競争力のある才能を見出し、育て、広める
- 国や地方公共団体、芸術団体、芸術系大学は連携し、才能を発揮できる環境を整備

提言の骨子

- 舞台芸術はゆとりと潤いが実感でき、心豊かで夢ある国民生活を実現
- 観光、産業など経済活動において付加価値を生み出す源泉となり、日本の国力を高める
- 実演芸術家等とアートマネジメン ント人材等有機的につながることで舞台芸術が盛んになる
- 優れた才能を持つ者を育成し、国民が幅広く舞台芸術を享受できる環境の整備が必要
- アートマネジメントの充実に向けた取組が不可欠
- 国・地方公共団体ははじめ関係機関において「具体的な推進方策」を講ずることが求められる

1章 今、舞台芸術人材の育成と活用を図る意義

(1) 舞台芸術の位置付けと意義

- 舞台芸術は、ゆとりと潤いが実感できる心豊かで夢のある生活をもたらす
- 観光や産業において新たな付加価値を生み出し、国の「文化力」を高める
- 舞台芸術の振興は国際競争力を生み出す
- 豊かで高品質な国家を実現する原動力となる

(2) アートマネジメントの役割と充実の意義

- 地域社会が求める創造活動の展開と文化的な街づくり
- 文化芸術の作り手と受け手をつなぐアートマネジメント
- アートマネジメントは舞台芸術振興に重要な要素
- 舞台芸術の振興により地域ひいては日本全体も豊かになる

(3) 舞台芸術人材の育成と活用の必要性

- 舞台芸術は、実演芸術家等の創造活動により成り立っている
- 実演芸術家だけでは舞台芸術は成立しない
- アートマネジメント人材や舞台技術者も不可欠な存在である
- 国民が幅広く舞台芸術を享受できる環境の整備が必要

2章 実演芸術家等の人材の育成と活用の方策

基本的な考え方

- (1) 実演芸術家等の育成と活用の必要性**
 - 第一線で活躍する人材は限られ、高い評価を受けた実演芸術家等の受け皿が乏しい
 - 地域における鑑賞機会は極めて少ない
 - 国、地方公共団体、芸術団体、大学等が連携・協力した人材の育成・活用が課題
- (2) 基本的な課題の認識**
 - 芸術家としての才能を見出し、尊敬すべき存在として認知、適切に伸ばす
 - 育成を強化すべきは、卓越したプロフェッショナルな人材で、育成強化策を重点的に打出す
 - 創造活動の中心となる劇場・音楽堂等の芸術拠点を強化
 - 実演芸術家等を地域社会や教育の場で積極的に活用
 - 人材育成・活用を進めるための法的・制度的な面を含む環境整備が求められている
- (3) 今後重視すべき視点**
 - 卓越した人材育成のための施策の充実
 - 文化芸術団体と劇場・音楽堂等と連携した創造活動が重要
 - 実演芸術家等が創造活動に打ち込むことができる環境を整える
 - 全国どこでも優れた舞台芸術に触れられる環境整備

具体的な推進方策

(1) 教育と研修による人材育成

- ①文化庁の芸術団体人材育成事業は、戦略的な支援強化など事業の更なる充実を推進
- ②文化庁の新進芸術家研修制度は、人材の裾野拡大等に留意した制度の更なる充実を推進
- ③新国立劇場は、我が国における演劇等舞台芸術の拠点として、人材育成の中心的役割を担うことを期待
- ④芸術系の大学における舞踊や演劇の人材育成など、学校教育における専門人材の育成を推進
- ⑤大学等におけるアートマネジメントに関する教育内容を充実
- ⑥アートマネジメントの現職研修について研修の活用を明確にする観点から充実

(2) 戦略的支援による人材活用

- ①文化庁の芸術創造活動特別推進事業は、最高水準の舞台芸術の公演への支援と公演の創作から実施までの一体的な支援を充実
- ②文化庁の舞台芸術振興の先導的モデル推進事業は、異なる地域間での共同制作の支援を充実
- ③国は、文化芸術団体を擁する劇場・音楽堂等における優れた創造活動への支援を充実
- ④地方公共団体は、劇場専属の文化芸術団体を増やすための取組を進めるとともに、国はこのような取組を促進
- ⑤実演芸術家等を活用した小・中学校からの演劇教育や舞踊の基礎の取り入れを推進
- ⑥劇場・音楽堂等におけるアートマネジメント人材等の専門職員の配置を推進
- ⑦国は、劇場・音楽堂等におけるアートマネジメントの充実に向けた重点的な支援を強化

(3) 人材育成及び活用に資する環境整備

- ①子どもの能動的な鑑賞機会の充実や、あらゆる世代の鑑賞者層の開拓を推進
- ②優れた舞台芸術の全国展開を図るため、各地域における鑑賞機会を充実
- ③劇場・音楽堂等における法的基盤の整備や税制上の措置などの方策に関連し、専門職員の資格やその配置の在り方を検討
- ④地方公共団体は、アートマネジメントの充実に向けた取組を推進

3章 アートマネジメント人材等の育成と活用の方策

基本的な考え方

(1) アートマネジメント人材等の育成と活用の必要性

- アートマネジメン ントや舞台技術に携わる人材育成が不十分
- 舞台芸術発展にはアートマネジメン ント人材等育成・活用が急務

(3) 今後重視すべき視点

- アートマネジメン ント人材等の計画的・体系的な育成の促進
- アートマネジメン ント人材等の積極的な活用の推進
- アートマネジメン ント人材等が能力を発揮できる環境整備

アートマネジメン ント人材等をめぐる現状と課題

(1) 大学等における人材育成

- 体系的・総合的なカリキュラムの構築が課題
- 劇場・文化芸術団体等との相互理解・交流が重要

(2) 現職の研修環境

- 研修内容の強化と研修を受けやすい環境づくりが重要

(3) 劇場・音楽堂、文化芸術団体等の人材活用

- 長期的な視野に立った人材育成や処遇の改善が重要

(4) 舞台技術の継承や革新への対応

- 舞台技術者の技術や経験を受け継ぐ若手人材が不足

(3) 文化審議会文化政策部会検討経緯

<第5期>

平成19年 8月 2日 第1回文化政策部会

概要：文化政策部会における検討内容等について審議

9月19日 第2回文化政策部会

概要：アートマネジメント人材等の育成及び活用について・ヒアリング①

○「アートマネジメント全般」

社団法人企業メセナ協議会シニア・プログラム・オフィサー
若林朋子 氏

○「大学等における人材養成」

昭和音楽大学音楽学部音楽芸術運営学科准教授 武濤京子 氏

○「若手アートマネジメント人材」

財団法人鳥取県文化振興財団副理事長兼文化芸術デザイナー
柴田英杞 氏

10月18日 第3回文化政策部会

概要：アートマネジメント人材等の育成及び活用について・ヒアリング②

○「受け入れ先の団体・文化施設」

前財団法人住友生命社会福祉事業団・いずみホール支配人
伊東順一 氏

○「舞台技術」

財団法人新国立劇場運営財団技術部長 伊藤久幸 氏

11月22日 第4回文化政策部会

概要：アートマネジメント人材等の育成及び活用について・中間まとめに向けた論点整理①

12月10日 第5回文化政策部会

概要：アートマネジメント人材等の育成及び活用について・中間まとめに向けた論点整理②

平成20年 1月23日 第6回文化政策部会

概要：アートマネジメント人材等の育成及び活用について・審議経過報告（案）
審議

<第6期>

平成20年 6月 4日 第1回文化政策部会

概要：文化政策部会における検討課題について

6月25日 第2回文化政策部会

概要：実演芸術家（音楽、舞踊、演劇等の分野における実演家）等に関する人材の育成及び活用について・ヒアリング①

○米屋尚子委員

○宮田慶子委員

○東京女子大学文理学部教授 佐々木涼子 氏

7月16日 第3回文化政策部会

概要：実演芸術家（音楽、舞踊、演劇等の分野における実演家）等に関する人材の育成及び活用について・ヒアリング②

○東京芸術大学名誉教授、文化庁芸術家在外研修員の会理事長平野忠彦氏

○新国立劇場舞踊芸術監督 牧阿佐美 氏

○演劇評論家 扇田昭彦 氏

○劇団一跡二跳主宰、劇作家、演出家 古城十忍 氏

7月28日 第4回文化政策部会

概要：実演芸術家（音楽、舞踊、演劇等の分野における実演家）等に関する人材の育成及び活用について・ヒアリング③

○作曲家、ピアニスト 野平一郎 氏

○ヴァイオリニスト、東京音楽大学教授 大谷康子 氏

○三味線演奏家、作曲家 本條秀太郎 氏

○舞踊家（クラシックバレエ） 安達悦子 氏

9月19日 第5回文化政策部会

概要：実演芸術家（音楽、舞踊、演劇等の分野における実演家）等に関する人材の育成及び活用について・ヒアリング④

○演出振付家、ダンサー、リ्यूーとぴあ新潟市民芸術文化会館舞踊部門芸術監督/Noism08芸術監督 金森穰 氏

○ジャズ・クラリネット奏者、有限会社スウィング・エイジ代表取締役 北村英治 氏

10月15日 第6回文化政策部会

概要：実演芸術家（音楽、舞踊、演劇等の分野における実演家）等に関する人材の育成及び活用について・審議経過報告に向けた論点整理①

11月7日 第7回文化政策部会

概要：実演芸術家（音楽、舞踊、演劇等の分野における実演家）等に関する人材の育成及び活用について・審議経過報告に向けた論点整理②

12月1日 第8回文化政策部会

概要：実演芸術家（音楽、舞踊、演劇等の分野における実演家）等に関する人材の育成及び活用について・審議経過報告素案審議

平成21年 1月15日 第9回文化政策部会

概要：実演芸術家（音楽、舞踊、演劇等の分野における実演家）等に関する人材の育成及び活用について・審議経過報告案審議

<第7期>

平成21年 5月14日 第1回文化政策部会

概要：実演芸術家及びアートマネジメント人材等の育成及び活用に関する審議経過報告について・ヒアリング①

○社団法人オーケストラ連盟常務理事 支倉二二男 氏

○社団法人日本バレエ協会副会長 岡本佳津子 氏

○社団法人現代舞踊協会会長 若松美黄 氏

○財団法人新国立劇場運営財団常務理事 角田博 氏

5月29日 第2回文化政策部会

概要：実演芸術家及びアートマネジメント人材等の育成及び活用に関する審議経過報告について・ヒアリング②

○東京藝術大学音楽学部長 植田克己 氏

○日本大学芸術学部長 野田慶人 氏

○日本オペラ連盟常務理事 草壁貞二 氏

○社団法人日本劇団協議会常務理事 西川信廣 氏

○社団法人全国公立文化施設協会

常務理事 松本辰明 氏

アドバイザー 間瀬勝一 氏

6月29日 第3回文化政策部会

概要：舞台芸術人材の育成及び活用について・文化審議会文化政策部会報告書
素案審議

7月23日 第4回文化政策部会

概要：舞台芸術人材の育成及び活用について・文化審議会文化政策部会報告書
(案) 審議

(4) 文化審議会文化政策部会委員名簿 (第5期～第7期)

《委員》

第5～7期部会長

宮田 亮平 東京藝術大学長

第5、6期部会長代理

富澤 秀機 テレビ大阪株式会社代表取締役会長 (委員 第6期まで)

第7期部会長代理

田村 孝子 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」館長

尾高 忠明 指揮者、札幌交響楽団音楽監督 (委員 第6期まで)

堤 剛 フェリス、桐朋学園大学長、サントリーホール館長 (委員 第7期から)

山内 昌之 東京大学教授

山脇 晴子 (株)日本経済新聞社文化・事業局長 (委員 第7期から)

《臨時委員》

池野 恵 舞踊評論家 (委員 第6期から)

唐津 絵理 愛知芸術文化センター主任学芸員、あいちトリエンナーレ2010キュレーター (舞台)

高萩 宏 東京芸術劇場副館長

田村 和寿 桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部スポーツ健康政策学科教授

三林 京子 女優、嘶家、大阪芸術大学短期大学部教授

宮田 慶子 演出家 (委員 第6期から)

吉本 光宏 株式会社ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室長

米屋 尚子 (社)日本芸能実演家団体協議会芸能文化振興部キャリアサポート担当部長

《専門委員》

ロジャー・パルバース 作家・東京工業大学教授